



## 2025年3月～パスポートがリニューアル！変更点や入手方法を解説

2025年3月24日の申請受理分から、発給されるパスポートが刷新されます。

新しいパスポートは何が違うのか、どうやって手に入れられるのか、気になる変更点や入手方法を解説いたします。外務省が今回パスポートをリニューアルする理由は主に2つ。それは、「セキュリティの強化」と「オンライン申請」への対応です。

セキュリティ面では、最新の印刷技術で、偽装変造対策が大幅に強化されたパスポートに変わっています。

新しいものは顔写真ページがプラスチックになり、レーザーで印字・印画する、という点が大きな特徴です。

また、顔写真は現行の1ヶ所から3ヶ所になり、その内1枚は傾けると顔写真と生年月日が切り替わる仕様になっています。

オンライン申請は、これまでには都道府県により対応が異なりましたが、3月24日からは全国で新規申請も切替申請も利用可能になりました。

マイナンバーカードとマイナポータルアプリ対応のスマホを使用して申請します。戸籍情報が連携されるので、戸籍謄本の提出は不要です。

また、申請手数料も窓口申請より割安になります。10年旅券の場合、オンライン申請では16,300円、窓口申請では15,900円です。

審査が終了すると交付予定日がマイナポータルに通知されます。受取期限までに窓口に行って受け取りましょう。

新しいパスポートの表紙の色やサイズの変更はありません。出入国スタンプを押す査証ページには2020年から採用されている葛飾北斎の浮世絵「富嶽三十六景」の作品が引き続き使用されます。

なお、新しいパスポートは国立印刷局で集中的に作成して配送するため、交付まで2週間程度かかるようです。外務省では、目安として旅行の1ヶ月前までの申請を呼びかけています。海外旅行のご予定のある方は、お早めに。

国によっては、パスポートの残りの有効期間が6ヶ月以上でないとい国でできない場合があります。お持ちのパスポートの残存有効期間が1年未満の方は切替申請ができるので、新しいパスポートを手にしておくのが良いですね。





## 手軽で便利なスマホのスキャンアプリ

紙の書類や手書きのメモなどだけでなく、ホワイトボードの板書などを、いつでもどこでも手軽にデジタルデータ化できるスマホのスキャンアプリ。スキャンアプリを使うと、単に撮影した場合と違って汚れやゆがみが補正され、文字や画像を鮮明にして保存や共有をすることができます。

スキャンは、iOSの「メモ」アプリや「ファイル」アプリ、Androidの「Googleドライブ」などの標準アプリでも可能ですが、より多機能なものを求めるのなら、専用のスキャンアプリが便利です。

今回はiOSにもAndroidにも無料で提供(一部有料機能があります)されているものの中から、PDF本家の「Adobe Scan」とMicrosoftの「Lens」をご紹介します。主な機能を下の表にまとめています。表中の青字のものは有料の機能になります。

この他にもとてもたくさんアプリがリリースされています。それぞれに特徴がありますので、ご自分の目的に合ったものをお選び下さい。

	認識方式	編集機能	保存形式	その他の機能
 Adobe Scan	自動	トリミング/回転/フィルター/タッチ	JPEG/PDF/Word/Excel/PowerPoint	OCR機能：有 ページ結合：有
 Microsoft Lens	自動/手動	トリミング/回転/フィルター/手書き	PDF/Word/Excel/PowerPoint	OCR機能：有 ページ結合：無

★チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など

デザイン制作・印刷 お任せ下さい!!

★ホームページ制作お任せ下さい!!

デジタルデザインで更新しやすいホームページを!

今あるホームページの編集作業もお任せ!!

◎ パソコン本体・周辺機器のご購入やパソコントラブル  
ご相談下さい!

◎ パソコン教室 無料体験実施中!

マデコム Facebook への  いいね! お待ちしております

株式会社 マデコム



〒510-8122 三重県三重郡川越町 豊田659-1

TEL : 059-366-0888 FAX : 059-366-0877

E-Mail : office@madecom.co.jp

URL : https://www.madecom.co.jp

発行 : 2025年3月1日

編集・作成 : 早川尚孝

